

## 第4章 施策と取組み

施策の体系(図)

基本目標 I 地球温暖化対策

基本目標Ⅱ 自然共生

基本目標Ⅲ 資源循環

基本目標IV 快適環境

共通目標 ①区の率先行動 ②教育・連携

ゼロカーボンシティとしま

資料第4-1号 取組指標(案) 成果指標(案) 施策の方向 施策 基本目標1 家庭への再生可能エネルギー及び省エネルギー機器等 区内の温室効果ガス排出量 I-1 脱炭素に向けた環境にやさしい行動を促進する I-1 ①環境にやさしい行動への支援 区内のエネルギー消費量 導入助成件数 ②環境にやさしい行動の普及啓発 区内の太陽光発電設置容量 事業所への再生可能エネルギー及び省エネルギー機器等 地球温暖化対策 区内の太陽光発電設置件数 導入助成件数 I-2 ①交通環境の改善 I-2 脱炭素のまちをつくる としま低炭素モデル地区基準を満たす地区 (旧)脱炭素化 ②自転車利用の促進 「環境に優しいライフスタイルを実施している」と 遮熱性舗装の整備済面積 (3)建築物の環境配慮 回答する区民人の割合 雨水流出抑制対策済量 <包含する分野別計画> ④脱炭素化に向けたまちづくりの推進 「鉄道・バス等の交通が便利である」と思う区民の割合 高齢者への熱中症予防訪問件数(件) I-3 気候変動に適応するまちをつくる · 豊島区地球温暖化対策 熱中症に関する満座等の参加者数(人数/年・累計) 「池袋駅を中心として、居心地がよく歩きたくなる街づ くりが進んでいる」と思う区民の割合 I-3 ①暑熱環境対策 実行計画(区域施策編) 「家庭、住民一人ひとりの防災意識や災害発生時の行動 ②災害等への備え · 豊島区気候変動適応 力が高まっている」と思う区民の割合 計画 (追加) 熱中症による緊急搬送者数 Ⅱ-1 ①自然環境や生物に関する調査・把握 生きもの調査に参加する区民の数 自然環境に触れる講座等の実施回数 基本目標2 ②自然環境の保全と創出 学校・区立公園のビオトープ数 みどり率 Ⅱ-1 生物多様性を保全する ③生物多様性保全のための学習・参加の場の提供 公園の整備面積(整備済面積) ④危険な外来種の情報提供 自然との共生 緑化基準を満たす公共施設数 緑視率が 25%以上の箇所の割合 Ⅱ-2 みどりを保全・創出する りが進ん りと思う

## 施策体系図イメージ(見開き)

5区民

よる

①区の率先行動 ②教育•連携

(旧)連携·協働

<包含する分野別計画> 豊島区環境教育等行動計画 共-1 区における環境配慮行動を促進する

共-2 環境行動力向上のための普及啓発・環境 教育を促進する

共-3 環境人材を育成し、活動の場を広げる

共-4 連携・協働の仕組みをつくる

共-1 ①職員の意識・行動改革 ②区有施設等のCO2削減 ③環境配慮型事業活動の推進

共-2 ①環境行動力向上のための普及啓発 ②環境教育・環境学習の推進 ③環境情報の効果的な発信

共-3 ①環境活動を率いる人材育成 ②環境活動の拡大

①協働による環境活動の推進 ②事業者・行政の連携強化 ③行政間連携による環境配慮

区有施設の太陽光発電設置済数 区有施設の太陽光発電設備容量

LED化された街路灯

再生可能エネルギー電力量の導入率(電力使用量) 多様な人に向けた環境に関する啓発講座等の参加者数 環境教育支援プログラムの参加校 環境リーダーの数

家庭・事業所での優れた取組みに対する表彰数 事業者等の自主的な環境美化活動 (としまクリーンサポーター登録団体数) 環境に関する連携・協定数

自治体間連携カーボン・オフセット事業による 森林整備面積

#### 区公共施設等豊島区役所の CO?排出量

「みんなで(地域や事業者等と連携して)環境保全に 取り組んでいる、または取り組みたい」と考える区

自治体間連携カーボン・オフセット事業による CO2 吸收量

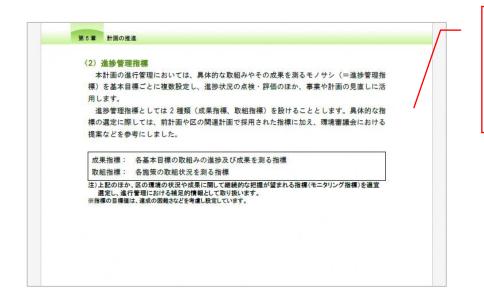
### <各ページの見方>

各ページの構成が一目でわかるよう 施策体系として、説明文を入れます。

### ♣ 施策体系

本項では、「地球温暖化対策」、「自然共生」、「資源循環」、「快適環境」、「共通目標」の5つの分野ごとの目標の実現に向けて、区民や事業者とともに区が進めていく最も基本となる行動を示す「方針」を掲げ、それぞれの方針に沿って施策の方向と施策を示しています。

また、分野ごとに、豊島区で生活する人々の意識に働きかけ、行動の促進と、持続可能なまちづくりとしての付加価値向上につながる、特に重要な施策を「重点施策」として設定しています。



※画像はイメージ 実際のページをピックアップして スクショに説明文を入れます。 (重点施策などの説明をわかりやす く)













## 基本目標 I 地球温暖化対策

### ↓ 地球温暖化を取り巻く動向

近年、地球温暖化が加速する中、世界中で熱波、大雨、干ばつなどの異常気象による大規模な 災害が多発しています。日本においても、記録的な猛暑や、大型台風、集中豪雨による自然災害な どが発生し、各地に甚大な被害をもたらしています。

このまま地球温暖化が進行してしまうと、熱波や豪雨などの極端な現象の強度と頻度の増加、海 面水位の上昇など事態はさらに深刻になっていくことが予測されており、人類や生態系が受ける 影響のリスクは非常に大きなものとなります。

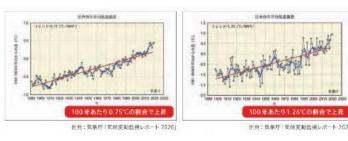
さらに、その影響は異常気象や自然災害にとどまらず、社会や経済にも 大きな影響を与えます。例えば、干ばつの影響により食料や水を安定して 確保できなくなれば、貧困化や難民の発生、紛争の火種となります。

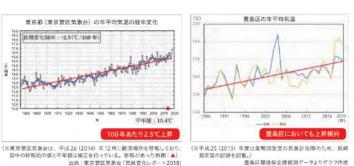
海面水位の上昇により、都市が水没すれば、多くの人々が移住や避難を 強いられ、施設やインフラが使用できなくなり、経済的損失に苦しむことに なってしまいます。世界、そして日本においても、まさに「気候危機」ともいう べき状況に直面しています。

### 気温の変化

世界の年平均気温は、様々な変動を

繰り返しながら 100 年あたり 0.75℃の割合で上昇しています。日本においても、年平均気温は 100 年あたり 1.26℃の割合で上昇しています。さらに東京都(東京管区気象台(千代田区))で は、都市化によるヒートアイランド現象の影響もあり、100年あたり2.5℃上昇しています。ま た、豊島区においても近年の気温は上昇傾向が見られます。





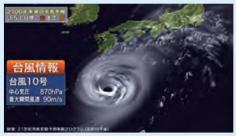
#### 気候変動に関する政府間パネル (IPCC) 第5次評価報告書の【RCP8.5】のケースを想定し、 産業革命以前からの気温上昇を1.5℃に抑える目標を達成できなかった場合の2100年夏の天気予報

2100年夏の各地の最高気温は、東京43.3°C、名古屋44.1°C、札幌でも40.5°Cを記録しています。全国の気温を観測しているおよそ900か所のうち、140か所で40°Cを超える「激暑」となり、熱中症による国内の年間死亡者数は、1万5千人を超えてしまいました。

続いて台風情報です。台風10号は、中心気圧870へクトパスカル、最大瞬間風速90mのスーパー台風となって本土に接近しています。竜巻、高潮、豪雨、洪水などによる自然災害に最大級の警戒が必要です。

なお、過去の観測史上1位の日最高気温は、東京39.5℃(2004/7/20)、名古屋40.3℃(2018/8/3)、札幌36.2℃(1994/8/7)です。甚大な被害をもたらした令和元年東日本台風(台風第19号)では、中心気圧915へクトパスカル、最大瞬間風速43.8 mでした(一般的に台風は、中心気圧が低い方が勢力が強くなるとされています)。





出典:環境省「COOL CHOICE ウェブサイト」 「2100 年未来の天気予報 |

さらに、21世紀末の東京都における将来の気候は、このようになると予測されています。

#### 東京都における将来の気候の変化予測

# 平均気温の上昇、真夏日、猛暑日、熱帯夜の増加

○ 日平均気温 …… 現在より+3.9℃

○ 真夏日 ··········· 56日 → 100日

○ 猛暑日 ………7日 → 43日

○熱帯夜 ………34日 → 71日

#### 年降水量の減少、 短時間強雨、無降水日の増加

○ 年降水量 ········ 1,639mm → 1,351mm

○ 短時間強雨 …… 0.3 日 → 0.8 日

○ 無降水日 …… 261日 → 286日

※将来の気候の変化予測は、気候変動に関する政府間パネル (IPCC) 第5次評価報告書で用いられた4つのシナリオのうち、最も温室効果ガスの排出が多いシナリオ (RCP8.5シナリオ) に基づいて予測された「地球温暖化予測情報第9巻」(気象庁) の予測結果。 ※現在は、平成21 (2009) 年~平成30 (2018) 年の10年平均、将来は2086年~2095年の10年平均で比較。

出典:東京都「東京都気候変動適応方針」を元に作成

いかがでしょうか?地球温暖化が進んでしまうと、気象や気候によって命を脅かされてしまうという危機的な日常が待っているのです。このような未来にならないためにも、今私たちは、一丸となってゼロカーボンに取り組み、地球温暖化を防止していかなければなりません。

### ↓ 豊島区ゼロカーボンシティ宣言

国内外で 2050 年ゼロカーボンへの動きが加速する中、令和 2 年 7 月に SDGs 未来都市に 選定された豊島区としては率先してこの課題に対応すべく、令和 3(2021)年 2 月に脱炭素社 会の実現に向けて、2050 年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする

\*

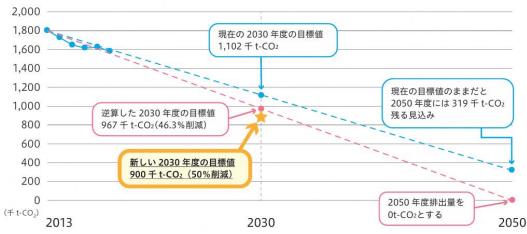
「ゼロカーボンシティ」を目指すことを表明しました。

23 区で3番目、都内で4番目の宣言となります。



### ↓ 削減目標の考え方

豊島区の本計画における現在の温室効果ガス排出量削減目標は、「2030年度の排出量を2013年度比39%削減」です。これまでの温室効果ガス排出量の実績と、2030年度の目標値から2050年度の排出量を推計すると、約32万トン残る見込みです。これをゼロとするためには、逆算すると2030年度の排出量を96万7000トン(2013年度比46.3%削減)にすることが必要です。



国は 2013 年度比 46%削減の目標を掲げ、さらに 50%の高みに向けて挑戦を続けるとしており、東京都においても、2030 年カーボンハーフの目標を掲げていることから、区としても 2030 年度における温室効果ガス排出量について 2013 年度比 50%削減を目指します。

基本目標 I 地球温暖化対策では、以下の計画を包含することとしています。

### 豊島区地球温暖化対策実行計画(区域施策編)

「地球温暖化対策推進法」第21条第3項に基づき、「豊島区地球温暖化対策実行計画(区域施 策編)」として策定するものであり、2009 年度に策定した内容を改定するものです。

### ▶ 豊島区気候変動適応計画(気候変動適応法)

第十二条に基づき、その区域における自然経済的社会的状況に応じた気候変動適応に関する計画を策定するよう努めるものです。

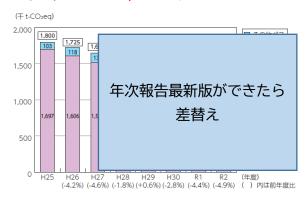
### 曅 現状と課題

### 区の CO2 排出量は平成25年度(2013年度)をピークに減少傾向

令和2年度における豊島区の温室効果ガス排出量は、143万6千t-CO2egでした。

前年度比では4.9%、平成25年度比では 20.2%の減 少となっています。

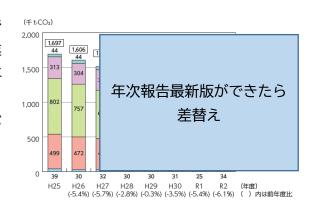
温室効果ガス排出量の約 90%を占める CO2 の排出量は、前年度比 6.1%減の 125 万 7 千tとなっています。平成 25 年度比では 25.9%の減少となっており、近年は減少傾向が続いています。



(出典) オール東京 62 市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」「特別区の温室効果ガス排出量」を元に作成

### 区の CO2 排出量や構成割合は民生部門が大幅に増加

令和2年度の CO2 排出量は、平成 25 年度比で 25.9%の減少となっています。部門別で見ると、運輸、業 務部門において減少傾向が見られます。しかし、2050年 にゼロカーボンを達成するためには、部門別割合の高い、 業務部門や家庭部門でのさらなる削減に対する取組みが 必要です。



## 温室効果ガス排出量の将来推計

1.	温室効果ガス排出量の将来推計
	作成中

### 2. 温室効果ガス排出量の削減目標の達成に向けた取組み

豊島区では国や東京都と連携し、地球温暖化対策の取組みをさらに強化し進めていくことで、2030年度における温室効果ガス排出量について、2013年度比50%削減を目指しています。

これまでの取組みに加え、目標達成に向けて区民の皆様とともに「オールとしま」で、今日からできるエコな取組みをはじめましょう。



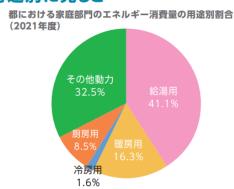
ほんの少し

# ライフスタイルを変えてみませんか?

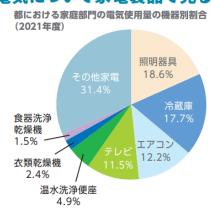
毎日の暮らしのなかで、私たちがどのくらいの CO2 を排出しているか、ちょっとだけ覗いてみましょう。 地球にやさしい暮らしの実現に向けて いま、できることから はじめてみませんか?

家庭ではさまざまな機器を使うために、エネルギーが使われています。 どこでどのくらい使われているかを知って、上手に省エネをしましょう。

### 用途別に見ると・・・



### 電気について家電製品で見ると・・





「家庭の省エネハンドブック 2024」(東京都環境局)

(https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/documents/d/kankyo/2024 handbook)を基に豊島区作成

### 使い捨てペットボトルから



### マイボトルに切り替える

年間の CO<sub>2</sub>削減量…29kg/人

※使い捨てペットボトル(500ml)をマイボトルに変えて 年間で 36,900 円\*も節約できるよ! 年間 246 回使った場合 \*\* 1 本あたり 150 円を年間 246 日購入した場合



### 食べきれない量から



### 食べ残しをなくす



年間の CO2削減量…54kg/人

### 無分別から



### ごみを分別して捨てる

※豊島区の家庭から出るプラスチックをすべて資源 としてリサイクルした場合



年間の CO2削減量…11kg/人

### ご近所なら、電車や車を使う生活から

## 

※一駅分(電車で1km 移動)、徒歩や自転車を利用した場合

電車を利用した場合と比べると

約 71,800 円~87,500 円\* 節約できるよ!

※ 年間 246 日、通勤・通学した場合 (※十日祝を除く、IC 利用)



## 冷蔵庫にものを詰め込みすぎない

※詰め込んだ場合と半分にした場合

年間の CO<sub>2</sub>削減量…21.4kg/世帯

冷蔵庫の中が見える と賞味期限切れや 食品ロスの防止にも つながるよ



### 冷房時の室温は28℃を目安にする



年間の CO2削減量…14.8kg/世帯

30.2kWh の省エネ効果に加えて年間 970 円\*1 節約できるよ!フィルターをこまめに(月 2 回程度)掃除することで、さらに年間 1,030 円\*2 の節約につながるんだって!

- ※1 外気温 31℃の時、エアコン(2.2kW)の冷房設定温度を 27℃から 28℃にした場合 (使用時間:9 時間/日)
- ※2 フィルターが目詰まりしているエアコン(2.2kWh)とフィルターを清掃した場合の比較

### お湯を出しっぱなしの生活から



食器洗いのお湯の量を減らす

年間の CO<sub>2</sub>削減量…20.9kg/世帯





ドライヤー使い放題の生活から

ドライヤーの使用時間を1日1分間減らす

年間の CO2削減量…3.6kg/世帯

金額に換算すると年間 240 円※ 節約できるよ!

※ ドライヤー(1,200W)を使用する時間を 1 日 1 分間短縮した場合

豊島区に住むみなさんですべて取り組むと・・・

年間の家庭からの二酸化炭素排出量を約 10% も減らせます!

(家庭での二酸化炭素排出量約 43 万 1 千トン(2021 年度)の うち約 4 万トンを削減)



資料:環境省「COOL CHOICE ウェブサイト」「ゼロカーボンアクション30」「リユース可能な飲料容器およびマイカップ・マイボトルの使用に係る環境負荷分析について (平成23年4月)」、東京都「家庭の省エネハンドブック」、豊島区各種統計を参考に作成。なお、人口・世帯数は令和6年6月時点の住民基本台帳による。

### ♣ 目指す姿

## ዹ 目標達成に向けた施策

施策の方向 施策 I-1 脱炭素に向けた環境にやさしい行動 I -1 ①環境にやさしい行動への支援 を促進する ②環境にやさしい行動の普及啓発 **I**I-2 ①交通環境の改善 I-2 脱炭素のまちをつくる ②自転車利用の促進 ③建築物の環境配慮 ④脱炭素化に向けたまちづくりの推進 I-3 気候変動に適応するまちをつくる **I**I-3 ①暑熱環境対策 ②災害等への備え

## ዹ 取組指標と成果指標

### 【取組指標】

	指標	現状値 (2023年度)	目標値 (2030 年度)
•	家庭への再生可能エネルギー及び省エネルギー機器 等導入助成件数(累計)	976	3,100
•	事業所への再生可能エネルギー及び省エネルギー機 器等導入助成件数(累計)	75	180
•	としま低炭素モデル地区基準を満たす地区(累計)	3	4
•	遮熱性舗装の整備済面積(㎡)	42,885	53,500
•	雨水流出抑制対策済量(㎡)	63,271	132,000
•	高齢者への熱中症予防訪問件数(件)	6,408	6,000
•	熱中症に関する講座等の参加者数(人数/年・累計)	60	940

### 【成果指標】

指標	現状値	目標値
	(2023年度)	(2030年度)
<ul><li>区内の温室効果ガス排出量(千 t-CO2)</li></ul>	1,472	900
	(2021年度)	
・ 区内のエネルギー消費量(TJ)	13,419	7,985
	(2021年度)	
<ul><li>区内の太陽光発電設置容量(kW)</li></ul>	8,269	32,500
・ 区内の太陽光発電設置件数(件)	1,792	3,239
<ul><li>「環境に優しいライフスタイルを実施している」と回答する区民の割合</li></ul>	83.5	100
・ 「鉄道・バス等の交通が便利である」と思う区民の割 合	88.5	90
・ 「池袋駅を中心として、居心地がよく歩きたくなる街 づくりが進んでいる」と思う区民の割合	34.5	42
・「家庭、住民一人ひとりの防災意識や災害発生時の行動力が高まっている」と思う区民の割合	12.8	25
・熱中症による緊急搬送者数	196	減少

### ♣ 施策

### Ⅰ-1 脱炭素に向けた環境にやさしい行動を促進する

再生可能エネルギーを積極的に活用することで、温室効果ガス排出量の削減につながり、環境 に与える影響を軽減することができます。

そのため、再生可能エネルギーなど、環境負荷の少ないエネルギーの普及と活用に取り組みます。エネルギーを取りまく環境は日々変化しているため、水素エネルギー等の新しい技術や、再生可能エネルギーの導入支援制度等について、普及啓発を行います。

また、省エネルギーの取組みにより、日常で使用するエネルギーを減らすことも重要です。一人 ひとりの省エネに対する意識の啓発に取り組みます。

### 施策

### ①環境にやさしい行動への支援

### ●再生可能エネルギー設備及び省エネルギー機器等の導入支援

住宅や事業所に設置される太陽光発電システムや、太陽熱温水器等の再生可能エネルギー設備、蓄電システムや家庭用コージェネレーションシステム(エネファーム)など省エネルギー機器の設置費用を補助し、導入を支援します。

### ●再生可能エネルギー・新エネルギー等に関する普及啓発

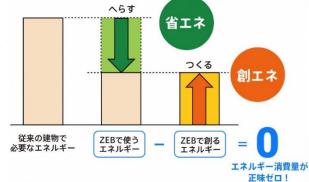
再生可能エネルギーに関する区民の理解を促進し導入へとつなげるため、普及啓発を行います。 また、国や東京都が率先して導入を進めている水素エネルギーに関して、イベントやセミナーなど の機会を利用して情報発信を行い、水素エネルギーになじみの少ない区民や事業者への普及啓 発を図っていきます。

## 「ZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)」



Net Zero Energy Building(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)の略称で、「ゼブ」と呼びます。快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物のことです。

建物の中では人が活動しているため、エネルギー消費量を完全にゼロにすることはできませんが、省エネによって使うエネルギーをへらし、創エネによって使う分のエネルギーをつくることで、エネルギー消費量を正味(ネット)でゼロにすることができます。



また、ゼロエネルギーの達成状況に応じて、4段階のZEBシリーズが定義されています。

O『ZEB』(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル(ゼブ))

省エネ(50%以上)+創エネで100%以上の一次エネルギー消費量の削減を実現している建物

- ONearly ZEB(ニアリー・ネット・ゼロ・エネルギー・ビル(ニアリー ゼブ))
  - 省エネ(50%以上)+創エネで 75%以上の一次エネルギー消費量の削減を実現している建物
- OZEB Ready(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル・レディ(ゼブ レディ))
  - 省エネで基準一次エネルギー消費量から 50%以上の一次エネルギー消費量の削減を実現している建物
- ○ZEB Oriented(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル・オリエンテッド)
  延べ面積 10000 ㎡以上で用途ごとに規定した一次エネルギー消費量の削減を実現し更なる省エネに向けた未評価技術(WEBPRO において現時点で評価されていない技術)を導入している建物









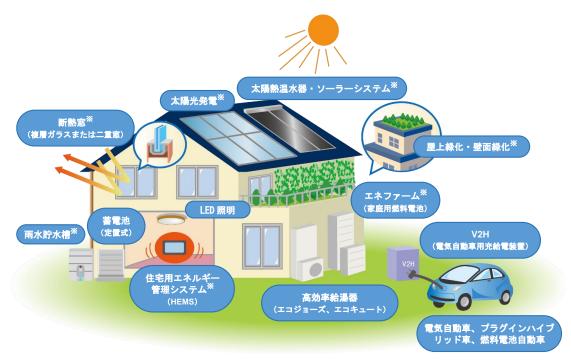
### 家庭における取組み

家庭のエネルギー使用によって排出される温室効果ガスは、区全体の排出量の約 3 割を占めます。しかし、世帯数の増加と世帯人員の減少などの影響もあり、温室効果ガスの排出量が減少しにくい実態があります。

具体的な対策として、各家庭における環境に配慮した設備・機器などの活用を促進するため、 住宅用の省エネルギー機器等の導入費用の助成を行います。また、区民一人ひとりが省エネ対策 や環境に配慮した行動に取り組むことができるよう、情報提供や啓発を行っていきます。

### ●環境配慮・省エネ対策への支援

各家庭において省エネルギーを実行する具体的な方法として、蓄電システム、家庭用燃料電池コージェネレーションシステム(エネファーム)、住宅用エネルギー管理システム(HEMS)、窓の断熱改修、雨水貯水槽などの設備・機器等の設置に対する助成を行います。また、集合住宅共用部分に対しては、太陽光発電システム及び LED 照明器具の導入費用の一部を助成します。



※付きは区の一般住宅に対する助成制度の対象(2018年度時点)

#### ●環境配慮・省エネ対策の普及啓発

日本は、2030年度のCO2排出量を2013年度から46%削減することや、2050年までにカーボンニュートラルを目指すことを宣言しました。この目標を達成するべく、政府は、「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動」(愛称『デコ活』)を開始しました。豊島区もこの取組みに賛同し、デコ活宣言を行いました。区民への『デコ活』の認知度を高めるため、具体的な取組みを掲載したチラシを作成し、区内施設やイベント等で配布するなど、PR活動を行い、環境への取組みを促進しています。



ファーマーズマーケット(「デコ活」啓発)

### 事業所における取組み

オフィスビル等の業務部門のエネルギー使用によって排出される温室効果ガスは、区全体の排出量の約4割を占めており、区内事業所とそこで働く人々による、温室効果ガス排出量の削減を促進する必要があります。

そのため、事業所における環境に配慮した経営の促進、省エネルギー型設備・機器等への更新 や新規導入に対する助成など、区内の事業者がそれぞれの特性に応じて取り組むことができるよ う支援していきます。また、区内事業所の日々の業務における省エネ型の働き方を促すため、情 報提供などを進めます。

### ●環境配慮・省エネ対策への支援

事業所における環境に配慮した経営に関する認証「エコアクション 21」取得費用の助成を行うとともに、認証取得の契機となるよう、認証制度の周知を行います。また、省エネルギー診断の結果に基づいて既存の設備を省エネ性の高いものに更新する中小規模事業者に対して、設置費用の一部を助成します。区内商店街における省エネ対策としては、装飾灯等の2分の1以上をLED街路灯に改修するなど、温室効果ガス削減に取り組んだ商店会等に対して、電灯料の補助率を80%に引き上げており、今後もさらに普及に努めます。

#### ●環境配慮・省エネ対策の普及啓発

区内事業所に対して、省エネルギーの推進を呼びかけ、区内で働く一人ひとりが省エネ対策や環境に配慮した行動に取り組むことができるよう、情報提供や啓発を行っていきます。また、国や東京都、区が実施する省エネ対策の支援制度等の情報を発信するなど、具体的な省エネ対策につながるよう、普及啓発を進めます。

### Ⅰ-2 脱炭素のまちをつくる

温室効果ガス排出削減は、個人の行動や個別の設備導入だけでなく、交通環境や建築物などを 含めたまち全体で進めていく必要があります。

区が進める都市整備の中で、低炭素化につながる公共交通、自転車交通などの環境整備を行い、区内の建築物の環境配慮やエネルギーの有効利用を促進するなど、環境に配慮したまちづくりを進めます。

### 施策

#### (1)交通環境の改善

池袋駅周辺の都市再生に際しては、歩行者優先のまちづくりを進め、多様なモビリティとの連携や、「池袋地区駐車場地域ルール」の適用による駐車施設の適正な整備、既存の駐車施設の有効活用を図り、人中心の交通環境の構築を進めています。

区内全域では、公共交通のあり方を検討し、低炭素化に繋がる公共交通の利用促進を図るための環境整備を推進していきます。

西口駅広パース

#### ② 自転車利用の促進

温室効果ガス排出量の少ない交通手段である自転車の利用を促進します。

交通事故や自転車走行空間の情報に基づき、地域に根差した効率的かつ効果的な交通安全対策を進め、警察や地域と共に交通安全の普及啓発に取り組みます。交通ルールの遵守・マナー向上、保険の加入や高齢者の自動車運転免許の返納、ヘルメット着用を促すため購入補助制度の活用を呼びかけ、自転車を安全に利用できるよう取り組みます。

#### ③ 建築物の環境配慮

国や東京都の制度と合わせて、建築物の省エネ化・環境配慮を促すような情報提供・支援等を行っていきます。「都市の低炭素化の促進に関する法律」に基づき、低炭素建築物新築等計画の認定や、「建築物のエネルギー消費性能の向上等に関する法律」(建築物省エネ法)における建築物エネルギー性能基準への適合義務は、2025 年4月以降に着工する全ての建築物(10m²以上)の新築・増築が対象となり、エネルギー使用の効率性等、CO<sub>2</sub> 排出抑制に役立つ建築物の促進が期待されます。

#### ④ 脱炭素化に向けたまちづくりの推進

鉄道駅周辺など、商業・業務などの都市機能が集積しエネルギーを多く消費する場所において、 都市開発の機会を捉えて、地域冷暖房やコージェネレーションシステムの導入、未利用エネルギー の活用などを含め、複数の建物間での面的なエネルギー利用を促進します。引き続き「としま低炭 素モデル地区基準」を設定し、低炭素まちづくりを推進していきます。

また、交流都市等と連携し、区外における森林整備等によるカーボン・オフセット事業を実施していきます。

### 〈脱炭素まちづくりイメージ図〉



#### I-3 気候変動に適応するまちをつくる

気候変動の影響は、気温上昇による熱中症の発生や台風の大型化等、区民の生活にも影響を 及ぼしつつあります。このような気候変動に適応しながら、健康への影響や災害による被害を防 ぐための取組みが必要です。

気温上昇やヒートアイランド現象等の影響に伴う夏の暑さを緩和するため、路面温度上昇の抑制やまち中の涼しさの創出に取り組むとともに、都市型災害の防止のための浸水対策や、災害時のエネルギー確保に取り組みます。

### 施策

#### ① 暑熱環境対策

ヒートアイランド現象を緩和するため、道路の路面温度上昇を抑制する遮熱性舗装や蒸発散効果を持つグリーンインフラの整備、建築物の配置の工夫などとあわせた、涼やかな風を感じるこ

とができる「風の通り道」の形成に取り組みます。また、公園の日陰化、都市開発に合わせて、屋上・壁面緑化など都市を冷やすクールスポットを創出します。そして、区民に対して、夏の暑さをやわらげる緑のカーテンづくりや打ち水の実施を呼びかけ、イベントや啓発講座等を実施していきます。



打ち水風景 応募写真



緑のカーテン (区民ひろば南池袋)

### 熱中症対策

○熱中症警戒アラート等をはじめとした国の熱中症予防に関する取組みを活用しながら、区のホームページや SNS、広報紙等のあらゆる媒体で暑さ指数や熱中症予防の啓発を行っていきます。あわせて、区内の公共施設等を「クーリングシェルター」および「涼みどころ」として、厳しい暑さを一時的にしのぐための場所として開放します。また、熱中症対策をするうえで必要な知識を学べる講座を実施し、熱中症対策を普及・啓発する人材を増やしていきます。

熱中症対策本部を設置し、全庁<del>的</del>で情報を共有しながら熱中症対策に取り組んでいきます。

### ○高齢者への熱中症予防訪問

75 歳以上の一人暮らし高齢者を熱中症から守ると共に、何らかの支援や見守りが必要な方を各種サービスや見守り活動などにつなげていくことを目的に、民生委員・児童委員や高齢者総合相談センターの見守り支援事業担当職員が個別に訪問し、熱中症対策のリーフレットやグッズなどを配付しています。

### ●災害等への備え

災害時のエネルギーを確保するため、都市開発の機会を捉えて、複数の敷地や街区単位での建築物の更新を促進し、災害時など、停電が発生した場合にも利用できる、自立・分散型エネルギーシステムの導入を促進します。

災害への備えや被害の軽減策として、大雨や台風などによる被害を防止するため、下水道事業と合わせて雨水の流出量を軽減させるための雨水浸透ます等の設置を推進します。また、東京都が進める河川や下水道などの浸水対策事業と連携して、透水性舗装、雨水貯留浸透基盤を持つグリーンインフラの整備や雨水桝の適切な維持管理等を行い、雨水排除能力の向上を図り、集中豪雨などによる都市型水害対策を強化します。

### 区民の役割

### 日々の生活において

- ・「デコ活」(●ページ参照)を心がける
- ・省エネルギー行動や環境配慮に努める
- ・クールビズ・ウォームビズを実施する
- ・打ち水や緑のカーテン等を取り入れ、暑さを和らげる工夫をする
- ・熱中症を予防するため、適切に空調を使用する

#### 外出する時

- ・徒歩・自転車・公共交通機関等を利用する
- ・アイドリングストップ等、エコドライブに努める

#### 買い替え・建て替えのときなど

- ・省エネ性能が高く、環境負荷の少ない建築材や空調・照明器具、家電製品等を選択する
- ・太陽光発電システムや太陽熱温水器などの再生可能エネルギーを導入する
- ・HEMS、家庭用燃料電池、蓄電システム等を導入し、エネルギーを効率的につくり、蓄え、 使う
- ・電気自動車やハイブリッド自動車等、環境負荷の少ない自動車を選択する

### 事業者の役割

#### 日々の業務において

- ・打ち水の実施や緑のカーテンの育成等、身近な暑さ対策を行う
- ・冷暖房の温度を適正に設定し、クールビズ・ウォームビズを実施する
- ・効率の良い配送や運送に努める
- ・エネルギーマネジメントを実施し、エネルギー使用量の把握と省エネルギーに努める
- ・環境マネジメントシステムの取得と適切な運用に努める

#### 移動する時

- ・徒歩・自転車・公共交通機関等を利用する
- ・アイドリングストップ等、エコドライブに努める
- ・環境負荷の少ない自動車を利用する

#### 買い替え・建て替えのときなど

- ・オフィス機器は、省エネタイプのものを導入する
- ・高効率な空調設備、照明機器などを導入し、設備機器を適切に維持管理する
- ・再生可能エネルギーを積極的に導入する
- ・BEMS(ビルエネルギー管理システム)を導入する
- ・低炭素なエネルギーシステムの利用を検討する(地域冷暖房、面的エネルギーの導入等)
- ・環境負荷の少ない自動車を選択する